

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度第6回直江津区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【協議事項】

・令和3年度地域活動支援事業（追加募集）について（公開）

①提案者によるプレゼンテーション

②質問項目協議

## 3 開催日時

令和3年8月6日（金）午後6時30分から午後8時40分

## 4 開催場所

上越市レインボーセンター 多目的ホール

## 5 傍聴人の数

5人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 中澤武志（会長）、青山恭造（副会長）、田中美佳（副会長）、  
磯田一裕、今川芳夫、河野健一、久保田幸正、坂井芳美、竹田禎広、  
田中 実、田村雅春、林 昌宏、古澤悦雄、増田和昭、水澤敏夫、  
水島正人（欠席者2名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小川係長、千田主任

## 8 発言の内容

### 【中村センター長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【中澤会長】

・挨拶

- ・会議録の確認：久保田委員、坂井委員に依頼

議題【協議事項】令和3年度地域活動支援事業（追加募集）について、提案状況及び本日の審議の進め方について、事務局へ説明を求める。

#### 【小川係長】

- ・当日配付資料No.1「令和3年度直江津区地域活動支援事業（追加募集）提案書 受付一覧」に基づき説明
- ・本日の進め方の説明

#### 【中澤会長】

これより、①提案者によるプレゼンテーションを次第の順番で行う。（一部変更あり）

- No.2 府中八幡宮の歴史文化財の発信事業
- No.3 直江津地区中高生支援・地域活性化事業
- No.4 《路上写真展看板製作》事業
- No.6 ブルーライト・なおえつプロジェクト2021事業
- No.7 直江津地区妊娠期応援事業
- No.8 『恋人の聖地』モニュメント制作事業
- No.5 直江津地区ひとり親家族緊急支援事業
- No.1 なおえつ うみまちアート応援 まちあるき事業

以上でプレゼンテーションを終了する。

次に、②質問項目の協議を行う。提案番号順にいきいたいと思う。この事業について、ここがわからない、ここが問題ということもあるかと思う。細かい質問等については、質問の用紙があるのでそちらに回していただくことも可能である。

2次募集の補助希望額がかなりオーバーしている。提案団体に対して、縮小は可能なのかという質問をどの団体にも出していただければありがたい。縮小されると一切できないという事業もあろうかと思う。もし駄目だという回答がくれば他の団体に回せるのでお願いしたい。

#### 【中村センター長】

補助金を削減しても事業実施が可能かということについては、昨年度の追加募集では、提案が2団体だったので質問した。しかし、今回についてはオーバーする金額が大きく、このまま均等にすると70%の金額になること、団体数が多いことから、事務局では委員から採点表を出していただいて、不採択となった事業を除いて、事務局で計算した中

で、スケジュールでは8月31日になるが、例えば85%だとか90%になりそうだが、それでも実施できますかと確認したほうが、現実味があると考えている。今、70%の可能性があると行ってしまうと、難しいところも出てきてしまうかもしれない。

**【増田委員】**

今から70%になると言えないので、「縮小されることもあるが、その場合はどうか」という聞き方をしたほうが良いと思う。実際に額が決まってから、何%縮小になるが良いかではなく、今の段階は会長が言われるように、減額になる場合があるが大丈夫かという聞き方をすれば良いのではないか。

**【中澤会長】**

不採択になることを前提にするのは良くないので、縮小されることがあるかもしれないが良いかという聞き方でどうか。どの程度縮小になるかの扱いはどうするか意見を求める。

**【磯田委員】**

採択の協議をして、何が採択になるかわかった時点で、残金と執行予算の数字が出るので、その時にこのくらい減になるが実施するかとか、あるいは、採択されても「この項目は認められない」というものが出てくると思う。協議していく中で、各団体に依頼していくのが1番良いと思う。一律に幾ら下げるとするのは、あまり望ましいとは思わない。

**【小川係長】**

補助希望額の合計が追加募集額を上回っていること、減額になる可能性があることと、採択を決定する前に減額をした場合に事業が実施できるかを確認する可能性があることは提案者に伝えてある。

**【中澤会長】**

最初に「No.1 なおえつ うみまちアート応援 まちあるき事業」について質疑を求める。

**【久保田委員】**

ツアーで案内人がついて回るのか。それとも、地図を作って配布するだけなのか。

**【中澤会長】**

案内人は、提案者が案内人になると聞いている。

**【田村委員】**

担当課所見にある「アーティストが参加することになっているが、実行委員会で事前調整して下さい」というのが疑問である。市がガイドマップを作っているのにあえて、ガイドマップを作る必要があるのか。

**【古澤委員】**

質問ではないが、項目の中でポスター印刷という欄がある。ポスターを配布されるところが決まっているということだが、各町内会で掲示板がある。今回はうみまちアートについて商店街に配られて、町内にも配布して欲しいということで、町内の掲示板については大体目のつくところに掲示してある。見てもらえばわかるが、八坂神社の前のあけぼの町内、東雲町の駅から降りたところにもあるし、それぞれ工夫をしている。

その中で、身近な行事なので担当課に聞いて、掲示板のある町内にこの事業に対するポスターを配布できるならば配布してほしい。

**【中澤会長】**

提案者がいるので、伝わったと思う。

**【増田委員】**

追加配布資料にある、アからツの内容は何か。提案書の後ろに書いてあるもので良いのか。

まちあるきツアーのチラシ印刷となっている。まちあるきツアーは有料で4回行うとなっている。そのPRのためのチラシを地域活動支援事業で作って良いか疑問である。そこをどう考えているか質問したい。

**【中澤会長】**

それでは、「No.1 なおえつ うみまちアート応援 まちあるき事業」については

- ・アからツの具体的な内容を教えてほしい
- ・まちあるきツアーは会費をとるが、その案内のためのチラシを地域活動支援事業で印刷することをどのようにお考えか、という質問とする。

次に、「No.2 府中八幡宮の歴史文化財の発信事業」について質疑を求める。

**【増田委員】**

必要な事業だと思うが、どのようにPRするのか、学習会のPRをどう考えているのか聞いて欲しい。

**【青山副会長】**

柱の設置場所について、文化行政課の専門員と相談したところ、雨風の当たらないと

ころに設置予定となっているが、八幡宮の周りを見ても雨風の当たらないところがわからない。場所の確認をお願いしたい。

**【磯田委員】**

当初、柱を立てる予定だったが専門員に確認したところ安全性に問題があるので、雨風が当たらないところに設置したほうが良いということで、ここの場所にと提案者は言っているという理解でよろしいか。

私の質問は、木の台座で安全性が本当に確保できるのか。木の台座と<sup>しやくだに</sup>笏谷石の固定方法とか、あるいは、設置場所はコンクリートの土間みたいなところだが、その土間と台座の固定方法とかをどの程度考えられているのか。台座の安定性にも問題があると思うし、ここは子どもの公園として使われている。遊具はほとんどなくなっているが、説明にもあったように、憩いの公園として良い公園でいろいろな人が来る。そこにぐらぐらした台の上に壊れやすい石を設置するので、子どもなどが上に乗ったりされても困る。その台座と鳥居との関係、土間との関係をどのように対策をするのか、恒久的なアンカーで固定してまでそこに設置するのかということもあると思う。

もう1点は、建物全体の景観として、この場所が本当に適切か疑問に思う。

**【田村委員】**

今の八幡宮は、いつ頃建設されたのか。耐震構造に問題はないのか。建物の下にこういったものを設置しても良いのか疑問である。

**【磯田委員】**

歴史的建造物の耐震性は、きちんと評価するとすれば非常に難しい構造計算をしなくてはいけないし、普通の住宅レベルのようにコンクリートで基礎をがっちり固めて、上部構造と基礎を緊結するような構造には、基本的にはあまりなっていないくて、石の上に柱が乗っかっている。地震が来たら、ちょっと動く構造になっていることがほとんどである。震度幾つの地震がきたら壊れるとか、そういう評価は耐震診断をしてみないとわからない。どの建物も同じである。壊れても下に置くのが石なので、その人的安全性という問題はないと思う。

**【田村委員】**

承知した。

**【水島委員】**

安全性は大変重要なことであり、セーフティーになっていないと、設置することは本

来できないはずである。磯田委員は、専門的な観点でそうおっしゃっているが、この予算から見て、提案者は多分そこまでお考えになっていないと私は思うので、その辺は、そこまで考えてこれを設置しようと思っているかと質問したほうが良いと思う。

#### 【中澤会長】

それでは、「No.2 府中八幡宮の歴史文化財の発信事業」については

- ・PRの仕方と学習会の告知活動をどのようにお考えか
- ・展示場所について安全性、景観的に若干疑問があるがよろしいか、という質問とする。

次に、「No.3 直江津地区中高生支援・地域活性化事業」について質疑を求める。

#### 【増田委員】

事業目的及び期待する効果で、楽しく過ごしている様子をSNS等で発信することで、若者の転出を防止するだけでなく、転入増加を目指すと言っているが、そんなことが簡単にできるのか、言い切ることができるのか、なぜそう言えるのか。

もう1つは同じような企画の実績があったら教えてほしい。

#### 【水島委員】

団体が発足してまだ4か月ほどである。4か月間の間に今まで何をされてきたのか。同じようなことをやってきたのか、それとも別のことをやったのか。これが初めてのことなのか、私には見えない。

市の所見では「課題なし」になっているが、私から見ると、カメラ、iPadの購入のこともある。カメラ、iPadだけでも予算に対して31%ぐらいのウェイトを占めている。それから、交通費の関係を入れると50%を超えてしまう。そこまで払ってやらなくてはいけないのか。そういうことで、事業ができるのか。

#### 【磯田委員】

事業目的に対する効果の中で、中高生に向けての支援を行いとあるが、どんな支援なのかがよく見えてこない。Yozakura編集部発足は、説明の中でSNSマガジンと言われたがそれは何か。SNSマガジンはどういうことをするのかという質問を是非していただきたい。4番の事業内容実施の①で、Yozakura編集部発足の基になる地域で活動する大人との座談会。ざっくりは理解できる。Open MUJIで、座談会をしているものを発信したりするというようなこと、あるいは、②番の街中で楽しむ様子を発信するということが理解できるが、この支援事業内容の追加提案書の中を見ても、SNSグループを作って、そのコミュニティーの中で何かしようというよう

な印象である。そういうコミュニティーを地域活動支援事業で支援することが良いのか  
が、我々の判断の大きなポイントになってくるかと思う。例えば、そういうコミュニ  
ティーを作った時に、公共性ということはどう担保するかとか、あるいはSNSの中での  
誹謗中傷だとかいろんな問題が出てきている中で、そういうことも含めて対応してい  
けるのかとか、そういう懸念がすごくあるので、もう少し丁寧に説明をして欲しい。

**【中澤会長】**

地域で活動する大人は、20代から30代。我々はもう除外なので活動はできない。

来年以降、この活動を続けるようなニュアンスで備品類を購入するように言っている  
が、我々としてはそこまで担保できない。その辺は無理だということをおかない  
といけない。

**【増田委員】**

水島委員が言われたように、支出の部分もカメラやiPadが何のために必要なのか非  
常にわかりにくい。ましてや、マスクを制作することも入っているので、この辺はよく  
聞いてみないとわからない。この件については、疑問点を皆さんに書き出してもらって、  
後で事務局にまとめてもらってはどうか。

**【中澤会長】**

経費の使用目的が明確でないということで具体的に質問していくこととする。

**【田村委員】**

中・高生をもつ親として、SNSで募集して、このように発信したらどうなのか。親  
として賛成するか疑問に思う。20代、30代の人が講師だと書いてある。そういうこ  
とに対して、警戒心がないのか。

**【中澤会長】**

それでは、「No.3 直江津地区中高生支援・地域活性化事業」については、経費の使用  
目的のほかに、

- ・転出を防ぐだけでなく、転入増加を目指すと言っているが、なぜそう言えるのか
- ・同じような企画の実績があったら教えてほしい、という質問とする。

次に、「No.4 《路上写真展看板製作》事業」について質疑を求める。

**【増田委員】**

路上写真展と言っているが、年4枚の写真を飾ることで写真展と言えるのか。

2点目目は、大きい看板を立てても、ここを通る人が見るだけである。これだけの経

費をかけて、看板を立てる効果がどのくらいあるのか。その効果について具体的な考えを伺いたい。

**【田村委員】**

前の看板が壊れたから撤去したのだろうと思うが、あれを作ったのが確か3、4年前だったと思う。この地域活動支援事業で作ったと思うが、壊れたから新しいものを作るというのはいかななものか。前のものが壊れたのであれば、まず自分たちで直す。そういった工夫があっても良いのではないか。

**【今川委員】**

現状は、もう機械が入ってかなり整備されている。

**【中澤会長】**

写真に詳しい方にお聞きしたいのだが、こういうものは提示することになると、著作権等の問題が絡むのか。その辺のことに触れていないが、本人が承知していれば、それは問題ないということか。

**【田中美佳副会長】**

それでは、「No.4 《路上写真展看板製作》事業」については、

- ・年に4枚しか写真を飾らないのに、これで写真展といえるのか
- ・効果としてあまり見えないものであり、どのようにお考えか、という質問とする。

**【中澤会長】**

次に、「No.5 直江津地区ひとり親家族緊急支援事業」について質疑を求める。

**【増田委員】**

高田と市民プラザでフードバンクをやった人たちがどうやっているか、知っている人がいるので、そこに聞いてみれば内容がよくわかると思う。その辺を聞いて、次回、内容を皆さんに紹介する。その延長線上だと思うので、そこでイメージを持ってもらえればと思う。ちょっとじっくりしないところがあるという感じがする。

**【古澤委員】**

提案書の事業の内容の実施方法の3番に、リクルート及び情報発信で、共催しているフードバンクじょうえつにライン登録しているひとり親家族とあるが、これは何世帯程対象になるのか。30世帯を予定しているようだが、登録している世帯はどれくらいいるのか。

**【中澤会長】**



今、繋がっている人が、30人ということかと思う。

【古澤委員】

繋がっているというのは、相談とかいろいろやっているのか。登録という意味がよくわからない。

【田村委員】

(4)の1の事業対象者のうち直江津地区住民の主にひとり親家族とあるが、主になるので他にもあるのか。2人親世帯の貧困家庭は対象なのか、生活保護世帯は、どうなのか。主にとはどういうことなのかわからない。

【中澤会長】

趣旨としては、非常に大事な事業だと思う。

支援の対象は30世帯とあったが、それ以外に広げる予定があるのか。

【増田委員】

フードバンクじょうえつにライン登録しているひとり親家族が対象で、これを見ると直江津に30世帯いるように読める。ライン登録していない人たちは対象にならないのか。ごく一部の人たちに限って支援するのは、非常に問題だと思う。

【磯田委員】

パントリー事業は、いくつかボランティア活動の中でやっている団体があって、マミーズネットもやったりしている。

この事業は、重要な事業だが社会的な課題に対して個別対応でやる。あるいはNPOなどの自主的事业として、ボランティア活動の中でやっていく分には問題ないし、どんどんやってもらいたい。私も協力している部分もある。

今回の場合は、直江津区の地域活動支援事業を使ってというところが考えどころになっていて、先ほどの範囲の話、対象者を限定していくところがどうなのか。それから、経費の使い方で、備品購入で台車やキャリーやクーラーボックス、あるいは、運搬費で15万9,000円、ボランティア学生の旅費まで公費で賄う必要があるか、賄わなくてはいけない事業なのかに疑問があり、もし、今までのようなボランティア活動の中での自主的活動ができなくて、是非こういう経費を使って支援してもらいたいという思いだとすれば、そこに整合性というか説明なり回答が欲しい。

やること自体は非常にいいことだとは思っているが、事業の経費の使い方について、いかがなものか。

**【中澤会長】**

後で、細かい見積りを出してもらおう条件でどうか。どう見ても対象者は30人だけだ  
と思う。それ以上に読み取れない。それに対して疑問がある。

それでは、「No.5 直江津地区ひとり親家族緊急支援事業」については、

- ・30世帯以上に支援の予定があるのか、という質問とする。

次に、「No.6 ブルーライト・なおえつプロジェクト2021事業」について質疑を求  
める。

**【増田委員】**

支出に、点灯式イベント費がある。何をやるか全然書いてなくて、一式2万5,00  
0円にプラス消費税になっている。これは具体的にどういうイベントを考えているのか  
質問を出したい。

**【磯田委員】**

前年の提案で、2次募集で出てきて、私は、何回も見に行っている。提案書に書かれ  
ている目的及び効果が、この事業によって達成できているかという、提案者から出て  
きている報告書は別にして、私の実感からすればほとんど達成できてないのではないか  
という印象である。期待する効果に対して、かかる費用が余りにも大きすぎるのではな  
いかという気がする。本来、自己資金や企業からの協賛でやるべきと書いてあって、去  
年も書いてあったと思っていたが、結局またその地域活動支援事業が余っていたら、ま  
た使おうみたいな感じである。協賛金でやるべきと言っているなら、協賛金でやればい  
いのではないかという気がしている。医療従事者への感謝の気持ちというが、その感謝  
の気持ちがどれだけ伝わるのかも非常に疑問である。

事業自体が、その拠点性の向上だとか、直江津の魅力向上に本当に繋がっているかと  
いうと疑問がある。

まとめると、質問としては、

- ・協賛金でやるべきと言っているのであれば、協賛金でお願いできないか
- ・その目的と効果は本当に実行できているのか、の2点である。

**【田村委員】**

電気料金は地域活動支援事業で払っているのか。市で払っているのか。

**【中澤会長】**

- ・イルミネーションをして、効果があるのか。

### 【古澤委員】

おそらく、イルミネーションについては直江津の方は知らない人が圧倒的に多いと思う。駅を利用している人しかわからないと思う。ある程度ポスターやチラシで直江津の住民に知らしめることが見えていない。そういった意味で地域住民にお知らせをする場を設けて欲しいという要望である。

### 【中澤会長】

それでは、「No.6 ブルーライト・なおえつプロジェクト2021事業」については、磯田委員からの2点と、

- ・点灯式のイベント内容を教えてほしい、という質問とする。

次に「No.7 直江津地区妊娠期応援事業」について質疑を求める。

### 【増田委員】

こういうフォローは行政でそれなりにしっかりしている。行政で何が足りないのか、先ほどの説明で、お宮参りとかお店の紹介とあるが、それは妊娠期の人だけでなく世間一般的なことである。そんな機関を設けなくても、直江津の人に聞けばいいし、直江津に嫁いできたからわからないと言っても、何かの縁があつてきたわけだから、その人達に聞けば良いだけとってしまう。行政は何もやっていないみたいにとれるが、行政もそれなりにしっかりした体制をとっているのでは、それほど迷っている人達がいると思えない。そう考えたときに、行政がやっている事業についてどうお考えか。行政の何が欠けているから、これをやりたいか説明してほしい。

2点目は、年1回の集いを開催するとなっている。年1回の集いだけで、効果があるのか。本来なら、日常的な相談体制が必要だと思うが、その記載が何もないのでどのように考えているか質問したい。

### 【中澤会長】

それでは、「No.7 直江津地区妊娠期応援事業」については、

- ・行政の支援のどの部分が足りないのか
- ・年間を通しての活動について、何か提案がないのか、という質問とする。

次に、「No.8 『恋人の聖地』モニュメント制作事業」について質疑を求める。

### 【増田委員】

モニュメントの存在を市内外にどのように発信するのか。

2点目、この場所はモニュメントを設置しても、ベンチがなく、結構草が伸びている。

管理をするのは、この団体ではないが環境整備をしっかりとしないと、モニュメントだけ作っても駄目なので、そこをどうお考えか質問したい。

**【中澤会長】**

設置場所は、与謝野晶子の碑の隣である。あの場所は、地域活動支援事業で作ったベンチもある。年に1、2回団体で清掃をしている。

**【磯田委員】**

団体としては、草刈を年に1回か2回ぐらいやっている。現状、草は伸びていることも確かである。

私の質問は、企画運営費の中で、高校生と上越教育大学の先生とのワークショップや制作過程での経費がかなり大ざっぱに書かれていて、上越教育大学の先生の謝礼を計上しているが、どういうプロセスでこのワークショップなり、作品制作の過程を作っていくのか、あるいは、ワークショップをやるために上越総合技術高校・直江津中等教育学校を予定しているということが書かれているが、その辺の段取りは、きちんと根回しができていて、それに向かってやっていくのか。それとも、募集みたいな感じにして作っていくのか、その辺のこの企画運営のところをもう少し明確にして欲しいという質問である。

**【田村委員】**

モニュメントの制作費133万円は高いのか安いのか、全然わからない。

**【中澤会長】**

それでは、「No.8 『恋人の聖地』モニュメント制作事業」については、

- ・モニュメントを作った後の情報発信の仕方をどう考えているか
- ・デザインのワークショップの段取りと内容を聞きたい、という質問とする。

次に、「その他」について、事務局へ説明を求める。

**【小川係長】**

- ・今後のスケジュールの説明
- ・当日配付資料No.2「直江津区地域協議会委員視察研修について（案）」に基づき説明
- ・次回協議会：8月27日金曜日、午後6時30分から

**【中澤会長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。